

「杜の都環境プラン」推進に向けた 主な取り組みについて

目次

1. 低炭素都市づくり

- (1) 市民の温室効果ガス削減の取り組みに対する支援 1
- (2) 事業者の温室効果ガス削減の仕組みづくり 2
- (3) 市民・事業者・行政の協働による3E推進 3

2. 資源循環都市づくり

- (1) 市民・事業者との協働によるごみ減量の取り組み 5
- (2) ごみ減量・リサイクルの啓発 7
- (3) 食品ロス削減の推進 8
- (4) 事業ごみ減量に向けた取り組み 9

3. 自然共生都市づくり

- (1) 生物多様性保全推進～せんだい生きもの交響曲～ 10
- (2) 有害鳥獣対策 12

4. 快適環境都市づくり

- (1) 大気汚染の常時監視 13
- (2) 石炭火力発電所への対応 14
- (3) 仙台港周辺における環境モニタリングの強化 14
- (4) 自動車環境負荷低減対策 15
- (5) 環境美化の取り組み 16

5. 良好な環境を支える仕組みづくり・人づくり

- (1) せんだい環境学習館（たまきさんサロン）の機能強化・充実 17
- (2) 大学・NPO団体等との連携による環境教育・学習の推進 19

1. 低炭素都市づくり

(1) 市民の温室効果ガス削減の取り組みに対する支援

◆ 熱エネルギー有効活用支援補助金 (Let's熱活！補助金)

温室効果ガスの削減ポテンシャルが高い「熱エネルギー」の有効活用が、日常生活における温室効果ガス削減につながるため、窓断熱改修や家庭用燃料電池（エネファーム）等の導入を支援する補助を実施。

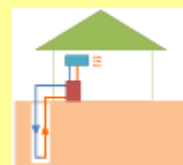
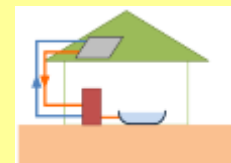
【補助実績】

年度	補助件数 [件]	温室効果ガス削減効果 [t-CO ₂]
平成28年度	323	199.5
平成29年度	366	229.7
平成30年度 (10月末時点)	330	151.3

コージェネレーション
(エネファームなど)



太陽熱利用システム



地中熱利用システム



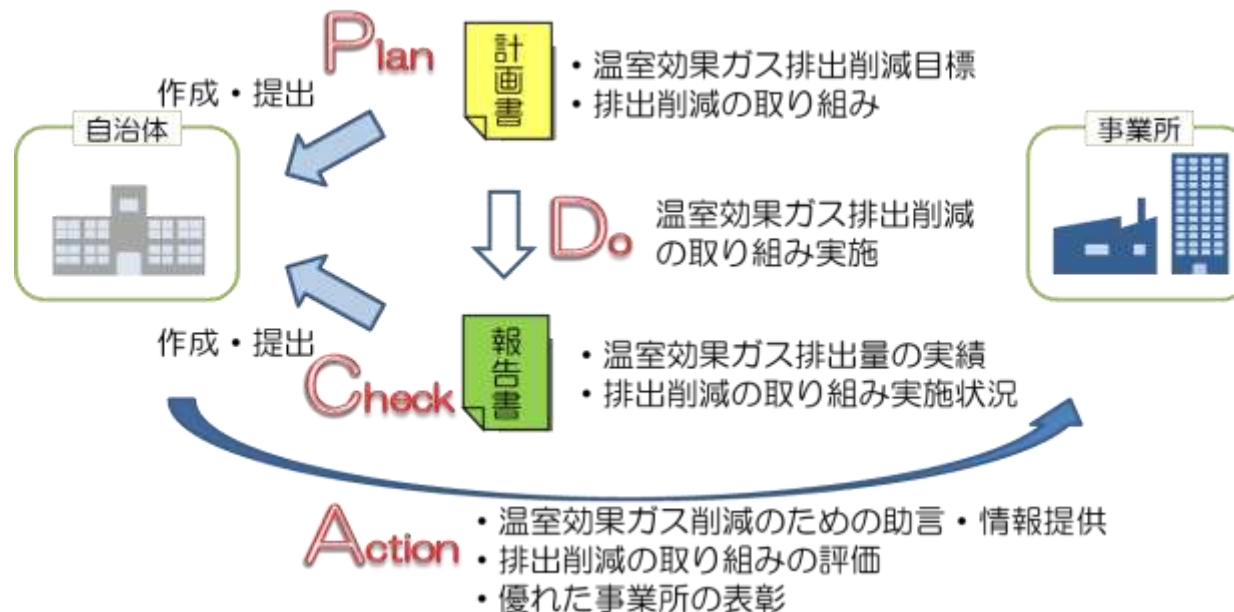
窓断熱改修
(内窓設置など)

1. 低炭素都市づくり

(2) 事業者の温室効果ガス削減の仕組みづくり

◆ (仮称) 温室効果ガス削減アクションプログラムの検討

- 「(仮称) 温室効果ガス削減アクションプログラム」の導入を目指し、平成28年10月から平成30年3月まで、市内10事業所でモデル事業を実施。温室効果ガス削減に向けた計画書の作成、対策の実施、報告書の取りまとめ等により、課題や解決策の検討など、より良い制度づくりに向けた意見交換を実施。
- 平成30年度は、地球温暖化対策検討部会を設置し、制度内容に関する審議を行っている。



1. 低炭素都市づくり

(3) 市民・事業者・行政の協働による3E推進

◆せんだいE-Action推進

市民・事業者・行政が協働して3E（省エネ・創エネ・蓄エネ）啓発に取り組む「せんだいE-Action実行委員会」を組織し、市民が楽しみながら参加できる企画により3E啓発を実施。

・ライトダウンイベント

星空観察会等を通じて、日頃の電気の使い方考えるきっかけとしてもらう

・打ち水イベント

伝統の知恵「打ち水」の実施を通じ夏期の節電を呼びかけ

・その他

新緑祭など市内大規模イベントへのブース出展

【イベント参加人数】

平成29年度	5,208人
平成30年度 (10月末時点)	5,022人



[一番町四丁目商店街 打ち水]

1. 低炭素都市づくり

◆ 伊達な節電所キャンペーン

家庭や事業所の節電や創エネにより得られた余剰電力を投稿してもらい、Webサイト上に余剰電力を積み上げた節電所を仮想建設し「見える化」を図る。

【キャンペーン実績】

	投稿数 (件)	節電・創エネ量 (kWh)
平成29年度	246	569,626
平成30年度 (10月末時点)	169	667,280



[伊達な節電所キャンペーン]

◆ 3E 推進地区支援事業

小学校を中心としたモデル地区で、緑のカーテン設置を通じた環境学習と啓発を実施。

【緑のカーテン設置状況】

平成28年度	七郷小学校、七北田小学校
平成29年度	栞江小学校、八木山小学校、八木山市民センター
平成30年度	小松島小学校、大沢小学校



[小松島小 緑のカーテン]

2. 資源循環都市づくり

(1) 市民・事業者との協働によるごみ減量の取り組み

◆ワケアップ！仙台・ごみ減量キャラバン

地域で環境美化に取り組むクリーン仙台推進員や町内会等と市職員が一緒にごみ集積所でごみ分別状況の調査や啓発活動を実施した他、集合住宅や東北福祉大学周辺でも同様の取り組みを実施。



[ごみ分別状況の調査]



[大学祭での調査啓発活動を実施]

2. 資源循環都市づくり

◆モットイナイ108万人の紙類回収キャンペーン

家庭ごみとして排出される資源物の混入が目立っていることから、スーパーや古紙回収業者の協力のもと、紙類回収キャンペーンを実施。

◆新生活者等への情報提供

「分別応援キャンペーン」として仙台市のごみ分別ルールを早期に理解してもらえるよう事業者や大学と連携した情報提供等を実施。大学の新生オリエンテーションにおいてごみ減量・分別講座を実施したほか、市内転入者に「資源とごみの分け方・出し方」を約27,000部配布。



[大学での新生へへの説明]



[市内転入者へパンフレットを配布]

2. 資源循環都市づくり

(2) ごみ減量・リサイクルの啓発

◆せんだい資源ナーレ開催

資源循環とリサイクルの必要性をアートのかで訴えるイベント「ワケのある芸術祭—せんだい資源ナーレ」を、平成30年1月に3日間、せんだいメディアテークで開催。



[展示された資源アート]

◆剪定枝戸別収集・資源化モデル事業

家庭から排出される庭木の剪定枝や幹を戸別収集し、チップ化の上、ボイラー燃料やマルチング材等の用途に活用。

受付期間 平成30年9月3日～11月30日

出し方 ①粗大ごみ受付センターへ事前申し込み
②決められた収集日にひもで束ねて自宅前に排出

◆紙製容器包装分別拠点回収モデル事業

ヨーグルトやカップ麺などのコーティング加工された紙製の容器包装の拠点回収を行い、トイレットペーパーに再商品化。

受付期間 平成30年9月1日～平成31年3月31日

出し方 紙袋に入れて市民センター等公共施設に設置する資源回収庫に排出

2. 資源循環都市づくり

◆ 多言語ごみ排出ルールDVDの作成

平成30年10月に、外国出身の方にもわかりやすくごみ出しルールを解説した多言語ごみ排出ルールDVD「ごみの出し方のルール 知っていますか？」を、やさしい日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語の計6言語で作成。

市内の大学・短期大学（16校）や日本語学校（13校）に配布するとともに、仙台市動画チャンネル「せんだいTube」にアップロードし、外国出身の方へのごみ出しルールの啓発を実施。

（3）食品ロス削減の推進

◆モッタイナイキッチン開設

平成29年度より、食品廃棄物の発生抑制を目的に家庭からの生ごみや食品ロスの削減を目指すレシピ投稿サイト「モッタイナイキッチン」を開設。

[URL] <https://www.mottainai-kitchen.com/>



[モッタイナイキッチンサイト]

2. 資源循環都市づくり

(4) 事業ごみ減量に向けた取り組み

◆ 事業ごみ等処分手数料の見直し

費用負担の適正化を図るとともに、事業ごみの減量・リサイクルを推進するため、平成30年4月より処分手数料を1,000円/100kgから1,500円/100kgに改定。

◆ 事業系リサイクル支援

事業ごみの分別やリサイクル推進のため、出前講座の実施や共同資源物回収庫設置に対する補助等を実施。

◆ 展開検査装置の導入

平成29年度に3箇所の清掃工場に搬入物検査装置を設置し、平成30年2月から専任の検査員が事業ごみの展開検査を行い、事業ごみの分別やリサイクルについて、より排出実態を踏まえた指導啓発を実施。

平成30年度からは、展開検査結果に基づく排出事業者への訪問指導を強化し、これまで約500件実施。



[搬入物検査装置]

3. 自然共生都市づくり

(1) 生物多様性保全推進～せんだい生きもの交響曲～

カジカガエル、カッコウ、スズムシなど本市に関わりの深い生きものの奏でる音に着目した啓発事業を通じ、本市の豊かな自然や多様な生きものに対する市民の理解と関心を高める。

【参加人数】

平成29年度	15,229人
平成30年度（10月末時点）	11,927人

◆初夏の音～カジカガエルが誘う里地里山の魅力発見～

- ・市民等からの情報をもとに「カジカガエル生息地マップ」を作成し、カジカガエルの生息環境のドローン空撮動画と合わせ、ホームページで公開。
- ・平成30年度からは、都市部の若者が地域住民と交流を深めながら、里地里山の魅力を体験・再発見する「エコツアー」を開催。



[カジカガエル生息地マップ]



[エコツアー(里地里山散策)]



[エコツアー(地域住民との交流)]

3. 自然共生都市づくり

◆夏の音～カッコウを呼び戻せ！ヨシ原活用大作戦～

- 市の鳥カッコウなど多くの生きものが生息するヨシ原において、年2回、生物多様性について学ぶ観察会を開催。
- 市民協働によるヨシ原を維持するための刈り取りを実施。

◆秋の音～将軍も愛でた伊達の虫の声～

- 地域の身近な緑地等において虫の声を楽しむ文化や歴史を学びながら野外観察を行う「虫の声を楽しむ会」を開催。
- 市民センターとの共催により、市内12ヶ所で開催。

◆その他の取り組み

- 専門家の協力のもと、カジカガエルなどの鳴き声を高音質（ハイレゾ）音源で配信。
- 平成30年度からは、民間企業と連携し、最新のICレコーダーを使った生きものの音録りワークショップや自然と親しむ機会が少ない若者を対象に生きものの音で音楽を創るアーティストによるライブイベントを開催。



[観察会]



[ヨシの刈り取り]



[音録りワークショップ]

4. 快適環境都市づくり

(1) 大気汚染の常時監視

窒素酸化物や光化学オキシダント、微小粒子状物質（PM2.5）等の大気汚染物質の濃度を常時監視し、ホームページや各区役所・総合支所に設置したディスプレイで情報を提供。



※市内の測定局位置図。21カ所で測定を実施。

[ディスプレイ]

4. 快適環境都市づくり

(2) 石炭火力発電所への対応

◆立地抑制に向けた取り組み

- 平成29年5月に石炭火力発電所に係る環境アセスメントの規模要件を撤廃。
- 平成29年6月に国に対し立地抑制に向けた実効性のある仕組みの構築を要望。

◆新たな指導方針の策定

平成29年12月に市域内への立地自粛を促す「杜の都・仙台のきれいな空気と水と緑を守るための指導方針」を策定・公表。

(3) 仙台港周辺における環境モニタリングの強化

◆平成29年度の取り組み

仙台港周辺への石炭火力発電所の立地を踏まえ、大気・海域ともに緊急環境調査を含む計6回の調査を実施。また、PM2.5の測定箇所を増やし、監視体制を強化。

◆平成30年度の取り組み

7月から蒲生干潟近辺に大気測定局を開設し、PM2.5の測定を開始。



[移動測定車による大気調査]



[船舶による海域調査]

4. 快適環境都市づくり

(4) 自動車環境負荷低減対策

◆電気自動車の普及活動

電気自動車を公用車として業務で使用するに加え、エコフェスタ等のイベントでの展示等により市民への普及啓発を実施。



[ラッピングを施した電気自動車]

【電気自動車・プラグインハイブリット自動車 導入状況】

51台 (平成29年度末時点)

4. 快適環境都市づくり

(5) 環境美化の取り組み

◆アレマキャンペーンの実施

「全市一斉『ポイ捨てごみ』調査・清掃活動」を中心とする「アレマキャンペーン」を、春・秋の年2回実施。参加者は、自分で選んだ場所でごみを拾う「キレイにし隊コース」、拾ったごみを種類別に数え、調査票に記入する「数えてみ隊コース」、散乱状況の解決策を話し合い、行動する「考えてみ隊コース」の中から選択して活動し、活動内容はホームページで公開。

【参加人数】

平成29年度	1,231人
平成30年度	737人

※平成30年度は春キャンペーンの参加人数



[アレマキャンペーン]

5. 良好な環境を支える仕組みづくり・人づくり

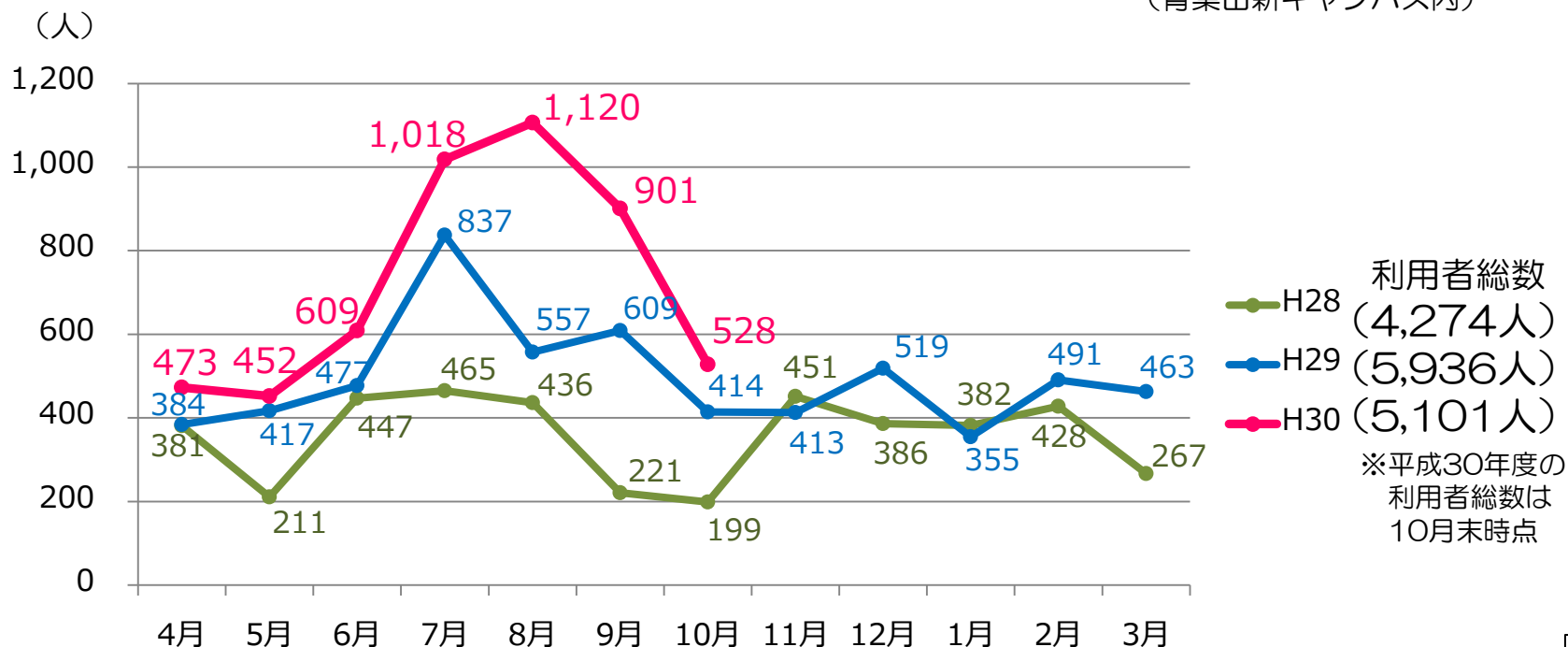
(1) せんだい環境学習館（たまきさんサロン）の機能強化・充実

環境教育・学習の拠点施設「せんだい環境学習館（たまきさんサロン）」において、環境に関する多様なテーマのサロン講座の開催のほか、親子向け講座や小学生の授業など子供たちへの環境学習の場としての活用、環境関連図書の貸し出しを行っている。



東北大学大学院環境科学研究科1階
(青葉山新キャンパス内)

◆開館以降の利用者数の推移



5. 良好な環境を支える仕組みづくり・人づくり

◆ 環境への理解を深める自主事業の充実

- 環境に関して学ぶ「サロン講座」を毎月1～2回開催。
- 啓発グッズを作成し、図書のポイントを集めた方やイベントの記念品として配布。
- 生物多様性保全推進事業のハイレゾ音源コーナーを常設。

◆ 子どもへの環境学習の推進の場としての活用推進

- 約2,000冊を所蔵する図書について、児童書をさらに充実。

【サロン講座開催回数・図書貸出数 実績】

	サロン講座開催回数		図書貸出数
	一般講座	親子向け講座	
平成29年度	18回	8回	1,648冊
平成30年度 (10月末時点)	10回	6回	1,748冊



[サロン講座 廃泥土リサイクル]



[啓発グッズ]

◆ 環境団体等が活動しやすい場の提供

- セミナースペースの定員数を増やすとともに、夜間利用を促進するなど、団体での活動に利用しやすい環境を整備。

◆ 自由来館者の増加に向けた広報の強化

- パンフレットをリニューアルし、周辺環境も含めたサロンの魅力をPR。
- 環境教育・学習のポータルサイト「たまきさん」で様々な情報を総合的に発信。

5. 良好な環境を支える仕組みづくり・人づくり

(2) 大学・NPO団体等との連携による環境教育・学習の推進

◆環境出前講座ネットワーク事業

- 学校や町内会等を広く対象にし、大学やNPO等が出前する環境講座（全30講座）を実施。

【申込件数】

平成29年度	53件
平成30年度 (10月末時点)	42件



[町内会での出前講座]

◆環境学習プログラムを活用した小学生の環境学習

- 東北大学等との連携により作成した環境学習プログラム（全24講座）を活用し、小学生がたまきさんサロンで学ぶ環境学習を実施。

【申込校数】

平成29年度	10校
平成30年度 (10月末時点)	13校



[環境学習プログラムによる小学生の環境学習]

5. 良好な環境を支える仕組みづくり・人づくり

◆FEEL Sendai ～杜の都の市民環境教育・学習推進会議

- 杜々かんきょうレスキュー隊

環境団体が主体となり、幼児～小・中学生を対象とした24の環境学習プログラムを作成し実践。

【申込件数】

平成29年度	70件
平成30年度 (10月末時点)	82件



[杜々かんきょうレスキュー隊]

- [環境社会実験]未来プロジェクトin仙台

環境配慮型の取り組みの拡大や定着を図るための企画を募集し、3団体の企画を採用し実施。

- 環境フォーラムせんだい

市民・NPO・学生等で構成する実行委員会が企画から運営までを行い、市民が楽しみながら環境問題への理解を深められる機会を創出。

【参加人数】平成29年度 約1,300人



[せんだい環境ユースカレッジ]

- せんだい環境ユースカレッジ

若い世代を対象に、環境NPO等での活動体験等を通じて環境教育に携わる人材を育成。